

2024年2月2日

The Emerging Markets Weekly

FOMC 後も利下げ期待は継続、新興国通貨は底堅く推移

新興国市場:先週末 26 日のアジア時間の新興国通貨は狭いレンジでの推移。IDR は先週に引き続き軟調。一方、THB はタイ 12 月貿易収支の結果が好感され上昇した。欧米時間、米金利が上下する中、新興国通貨もまちまち。RUB が下落する一方、ZAR は買われた。週初 29 日、アジア時間は薄商いの中、方向感に欠く動き。欧米時間、欧州金利の低下に連れて欧州通貨も売られた。米金利は低下したが新興国通貨は下げ幅を取り戻せず。BRL はブラジルの 2023 年基礎的財政収支が赤字となったことも嫌気された。30 日のアジア時間は前日の米財務省による 1~3 月期の予想借入額の下方修正などを背景にドルが軟調となり、大半が上昇。THB や VND が堅調。欧米時間、米 12 月 JOLT 求人件数が市場予想を上回り、米金利は一時上昇するも、その後失速。新興国通貨は底堅い値動きを維持。MXN が値を伸ばすが、RUB は下落。31 日のアジア時間は堅調な米経済指標を受けて早期利下げ観測が後退する中、概ね軟調。TWD や KRW が下落。PHP はフィリピンの良好な GDP 成長率が支援材料に。欧米時間、米経済指標が冴えない結果に米金利が低下、新興国通貨は上昇。FOMC 後のパウエル FRB 議長の記者会見内容は強弱まちまちで終盤はやや方向感を欠いた。ZAR は上昇、MXN は原油価格に連れて下落した。2 月 1 日のアジア時間の新興国通貨は FRB の利下げ期待が残る中で、小幅な値動き。欧米時間、米新規失業保険申請件数が市場予想より増加したことをきっかけに、ドル高が修正され新興国通貨は買われた。BRL や MXN が上昇した。

アジア:シンガポール金融通貨庁(MAS、中央銀行)は 29 日に金融政策の据え置きを決定したが、市場の反応は限定的。インドネシアのスリ・ムルヤニ財務相は 30 日、IDR 相場が今後も安定した推移するとの見通しを示した。IDR は今週後半に持ち直しているが、足許で 3 か月ぶりの安値圏を推移していることが意識された格好。31 日発表の中国 1 月製造業 PMI は 49.2 と景気拡大・縮小の分け目となる 50 を 4 か月連続で下回った。一方、非製造業 PMI は 50.7 と 2023 年 9 月以来の高水準となった。同日公表のフィリピン 23 年 10~12 月期実質 GDP 成長率は前年同期比+5.6%と市場予想の同+5.1%を上振れた。これを好感し PHP は上昇。同日公表の台湾 10~12 月期実質 GDP 成長率は前年比+5.1%と市場予想の同+4.2%を上回った。タイ憲法裁判所は 31 日に最大野党の民進党が 23 年の総選挙で不敬罪の改正を公約に掲げたことを憲法違反とする判断を下した。2 月 1 日発表のインドネシア 1 月消費者物価指数(CPI)は前年比+2.57%と市場予想を上振れたが、概ね安定的な動きが続いた。

ラテンアメリカ:30 日発表のメキシコ 10~12 月期実質 GDP 成長率は前年比+2.4%と 7~9 月期から減速、市場予想も下振れた。ブラジル中央銀行(BCB)は 31 日に全会一致で政策金利を▲50bp 引き下げ 11.25%にすることを決定した。利下げは 5 会合連続。チリ、コロンビアでも同日利下げが決定されており、中南米では各国中銀が利下げに転じる動きが本格化しつつある。

金融市場部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

市場概観(ブラジル)

BCB は利下げ路線を継続

金融市場部
長谷川 久悟
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

ブラジル中央銀行(BCB)は1月31日、金融政策委員会(Copom)を開催し、政策金利(翌日物金利、Selic)を11.75%から▲50bp引き下げ、11.25%とした(図表1)。2023年8月会合で3年ぶりに利下げに転じて以降、5会合連続での利下げとなった。なお、12月21日、ネット・BCB総裁は3月会合までは▲50bpの利下げを予測していることを明言しており、今回の▲50bp利下げは既定路線だった。なお、金融政策の先行きに関しては、「委員会は、インフレシナリオが予想通りの展開になれば、次回会合においても同規模の追加利下げを実施することを、全会一致で予想する。このペースが、デイスインフレシナリオに必要な縮小的金融政策を維持するのに適切であると判断する。」との文言に変化はなく、次回会合でも▲50bpの利下げ実施が見込まれるだろう。

域内の物価動向に関し、1年半ばまでの1か月間のインフレ率(IPCA-15)は、+4.47%(前年比、以下同様)と、市場予想の+4.63%および12月の+4.72%を下回った(図表2)。なお、本年からはインフレ目標が+3.0%(±1.5%)と下方修正されており、上記のデータはこれに収まった格好だ。天候不良で穀物価格が不安定なことは気がかりだが、食料品・エネルギーを除いた指数(+5.66%→+4.98%)は大きく伸びが減速しており、基調的物価は下向きだ。天候不良の継続や地政学リスクの高まりなどの伴う資源価格、商品価格の高騰には注意を払うべきだが、利下げ路線を覆すほどのインフレ再燃は見込み難い。

かかる中、先々のインフレ見通しは、前回国会以降、低下基調で推移している。BCBの市場サーベイ(1月26日集計)によれば、市場参加者のIPCA見通しは、2024年で同+3.81%、2025年で同+3.5%という(図表3)。前回国会時点の調査より、2024年が▲0.12%ポイント下方修正されている。なお、BCBの見通しによれば、通年のインフレ率に関し、2024年に同+3.5%、2025年に同+3.2%となっており、こちらは前回国会から不変だった。

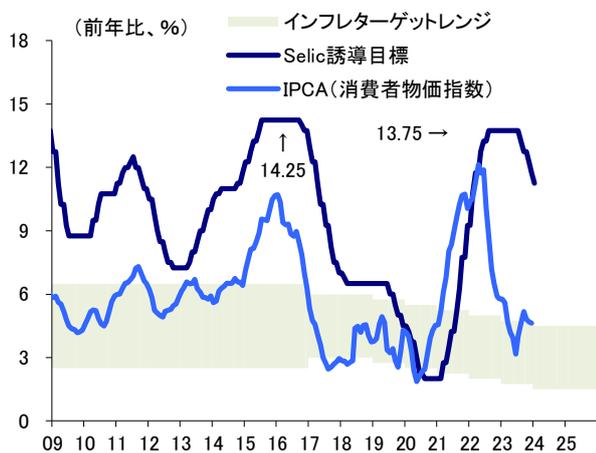
インフレ見通しのリスクバランスに関する文言に関しては、上下双方向に広がっているとの判断は不変だった。上振れリスクとしては、世界的なインフレ圧力の高まりや、国内の需給ギャップの引き締まりを背景としたサービスインフレの強まりを指摘した。こうした中、上述のBCBサーベイでは、年末の政策金利見通しに関し、2024年で9.00%、2025年で8.5%となっている(図表4)。BCBの中立金利は4.50%~5.00%と考えられ、12か月先の期待インフレ率は4%付近で安定していることを考えれば、市場の織り込みは妥当な水準だ。

以上、BCBは予告通りに▲50bpの利下げを実施した。もっとも、BCBは「デイスインフレプロセスが強化され、インフレ期待が目標を中心に固定されるまで、収縮的な金融政策を継続する必要性を強化」することにコミットしており、次回3月会合でも▲50bpの利下げが行われるだろう。利下げ幅拡大は見込まれない。なお、今回会合からは、パウロ・ピチェッティ氏とロドリゴ・テイシェアラ氏が、新たなメンバーとして参加している。既に、9名のうち4名が、ルラ政権が指名したメンバーとなっている。加えて、政権は新たに2名を任命する予定であり、ルラ政権からの圧力の高まりが懸念される状況だ。もっとも、一部の新興国でみられるような行き過ぎた介入はルラ政権下では行われたことがなく、BCBの金融政策に多大な影響をもたらす可能性は大きくはな

い。ただ、ルラ政権の財政拡大路線が、BCB の障害となるリスクには注意を払いたい。ルラ政権は、1月22日に、「新産業ブラジル(New Industry Brazil)」と題した新たな産業奨励計画を公表しているが、歳入の伸び悩みが懸念される中、金融市場への悪影響も指摘される状況だ(図表5)。議会で歳入増加に向けた議論が行われる予定であり、財政悪化懸念の高まりなどに至らないか警戒したい。

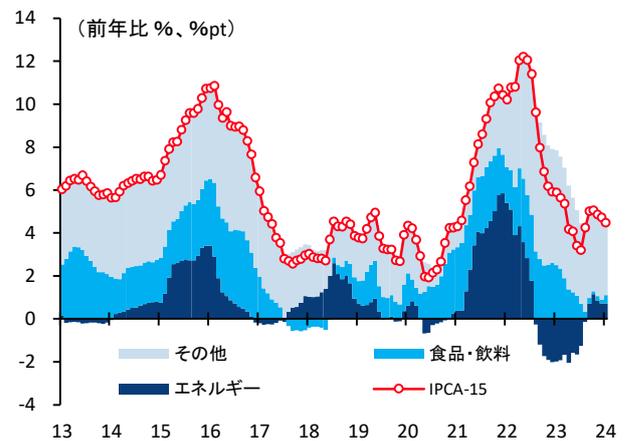
1月のBRLは、やや弱めの推移となった(図表6)。ブラジル財政懸念の高まりや米金利上昇に加え、ブラジル株安が嫌気される中で一時5.00を超えて下落した。その後は、中国当局による景気下支え期待を背景に市場心理が改善する中、商品価格上昇も好感され、4.90付近に強含む場面もあったが、BCBの利下げ路線が意識され、4.96付近に値を戻している。かかる中、2月のBRL相場は、弱含む展開を予測する。BCBの利下げ路線の継続が、引き続き金利面からBRLの重しとなる構図が続くだろう。投機筋のネット・ロングポジションは取り崩しが進んでおり、こうした要素もBRLの売り材料となる。商品価格が底堅いことは下支えとなるだろうが、中国経済の不調、米景気の失速を前に、輸出の伸びは停滞している。需給環境も、BRLの上値を押さえる要因になるだろう。

図表 1: 政策金利とインフレ率(IPCA)



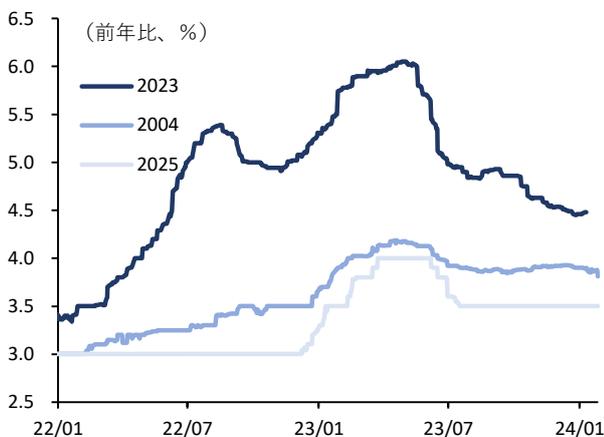
出所: ブラジル中央銀行、ブラジル地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: インフレ率(IPCA-15)の品目別寄与度



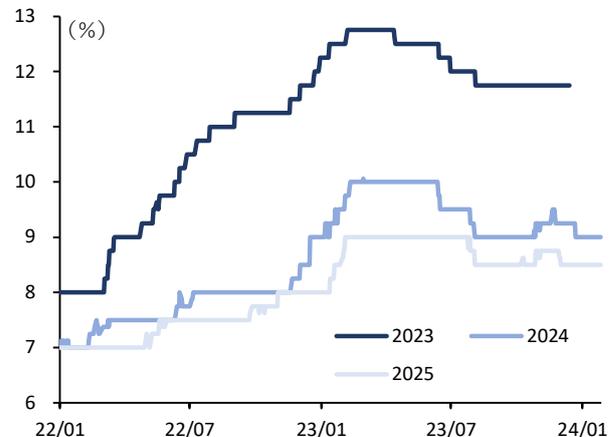
(注)エネルギーは国内燃料と自動車用燃料の合計
出所: ブラジル地理統計院、Macrobond、みずほ銀行

図表 3: BCB 市場サーベイ(年間 IPCA 見通し、中央値)



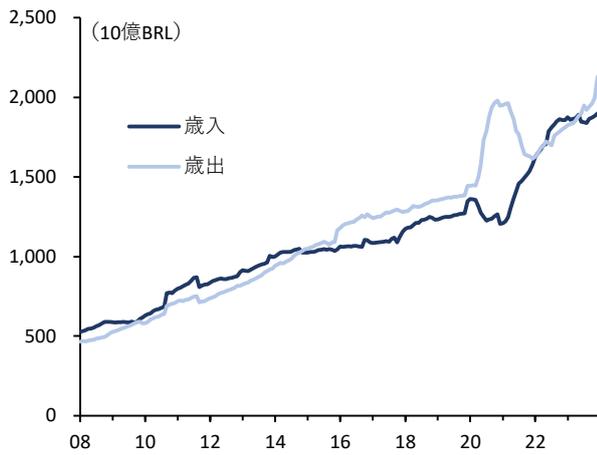
(注)2024年1月26日時点
出所: ブラジル中央銀行、Macrobond、みずほ銀行

図表 4: BCB 市場サーベイ(年末の政策金利見通し、中央値)



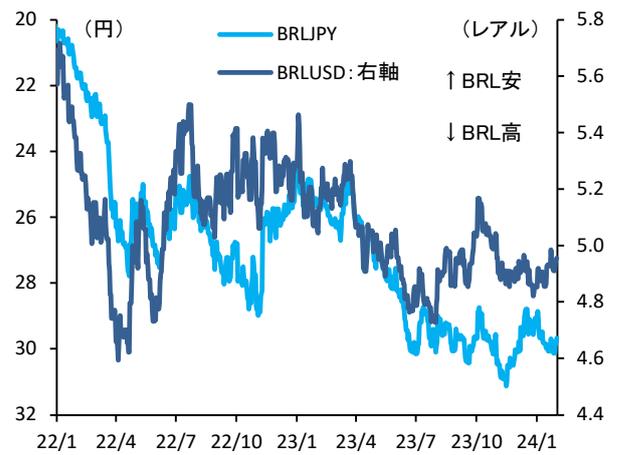
(注)2024年1月26日時点
出所: ブラジル中央銀行、Macrobond、みずほ銀行

図表 5: 政府の歳入と歳出(12 か月合計値)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: BRL スポットレート(日足)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

市場概観(インド)

来年度暫定予算案公表を受けて～財政赤字縮小へ意欲を示す～

金融市場部
長谷川 久悟
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

2月1日、インド財務省は24-25年度(24年4月～25年3月)の予算案を公表した。米大手格付会社のアナリストがこれを受け、インタビューでインド国債の格付に関し、予算案の完成を待ってから判断を行うと明言した。金融市場でも、予算案の内容はサプライズをもって受け止められており、実際予算案公表直後にはインド10年金利が急低下している。本欄では、予算案の概要とともに、金融市場への影響をまとめた。なお、タイトルで「暫定」としている通り、今回の予算案はあくまで仮置きだ。総選挙を通過したのち、予算案が確定する流れになっている。

まず、今回の予算案でもっとも注目を集めたのは、24-25年度の財政赤字見通しに関し、5.1%(GDP対比)と設定されたことだ(図表1、2)。ブルームバーグが調査したコンセンサスでは、5.3%となっていたことから、債券市場にとっては良いサプライズとなった。なお、23-24年度の推計値に関しては5.8%となっており、予算策定段階の見通しである5.9%から小幅に下方修正されている。従前よりインド政府は、25-26年度までに財政赤字を4.5%未満に抑えるという財政再建計画を掲げており、これの達成に向け少し近づいたと評価できよう。

歳出サイドでは、資本的支出の増大が目玉を引く。24-25年度予算案における資本的支出は、11兆1000億INRと、前年度から+17%増となっている。それ以前が+28%増、+25%増と並んでいるだけに伸びが鈍化しているとの指摘もあろうが、全体の歳出が+6.1%と抑制されていることを思えば、十分に高い水準だろう。実際、資本的支出のGDP対比の数字は、24-25年度予算案で3.4%となっており、前年度の3.2%を上回っている。なお、これは、6年連続の比率増加だ。シタラマン・財務省は予算案公表のプレゼンにおいて、モディ首相の功績をたたえとともに、インフラ支出などを通して貧困層、農村民などへの支援を前面に押し出している。総選挙に向けた支持集めの一環と解釈して差し支えないだろう。一方、歳入サイドに目を移せば、市場からの借入額が減少したことが注目に値する。グロスの発行額に関し、14兆1300億INRと、市場予想(15兆2000億INR)と前年度実績(15兆4300億INR)を下回った。GDP対比でも、5.2%から4.3%に大きく減少する計算となる。国債増発懸念の後退が、国債金利の急低下を招いた可能性が非常に高い。

以上、暫定予算案の内容を簡単にまとめた。インドの債務水準は主要新興国の中でも悪く(図表3)、財政健全化路線を打ち出した今回の予算案は、一定の評価に値するだろう。もっとも、まだ暫定的なものである点、持続可能性、達成可能性などを考慮に入れると、やはり財政に対する楽観姿勢が長期的に相場のテーマになるとは考えにくい。他方、金融市場への影響に関しては、上述の通り、国債の供給量が減るという観点で、基本的には望ましいと言える。6月からは、インド国債が新興市場債券指数に組み入れられる予定となっており(*)、海外投資家の需要にも期待できる。インド国債はそのほとんどが国内で消化されており(図表4)、海外投資家の保有割合は、せいぜい4%程度に留まる。既にインド債券市場への海外資金流入は確認されており(図表5)、今後も買い圧力は期待できる。他方、為替市場に関しては、株式市場・債券市場への資金流入はINR買い圧力にはなるだろうが、インド準備銀行(RBI)は機動的な為替介入でINR相場の安定化を図っており、過度なINR高は容認しないと推察される。もっとも、資金流入に伴うインド国債金利の低下が、INR売り圧力にも

なると考えており、実際にはそれほど一方的で強い INR 買い圧力にもならないだろう。

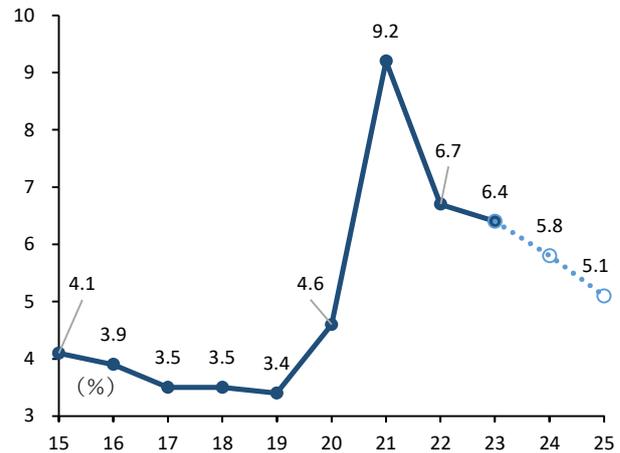
*詳細は、2023年9月22日発行の通貨ニュース、『インド:新興市場債券指数へのインド国債の組み入れが決定』をご覧ください。

図表 1: 財政赤字の GDP 比(長期)



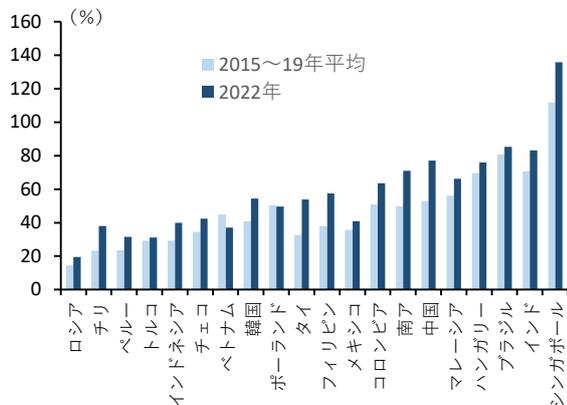
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 財政赤字の GDP 比(実績と予測)



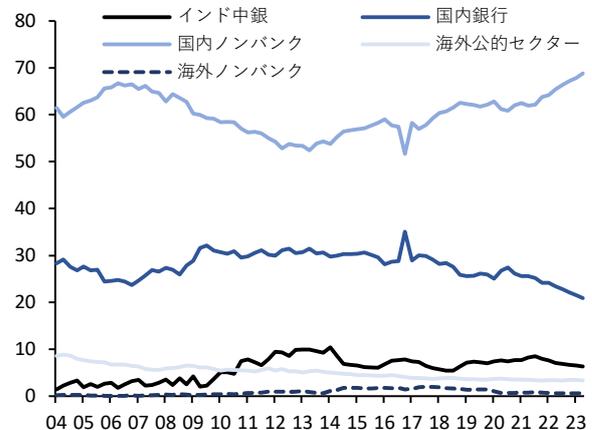
出所: ブルームバーグ、インド財務省、みずほ銀行
 ※それぞれの年の3月時点の数字を表示しており、例えば25年であれば、24-25年財政年度を指す

図表 3: 政府債務の GDP 比



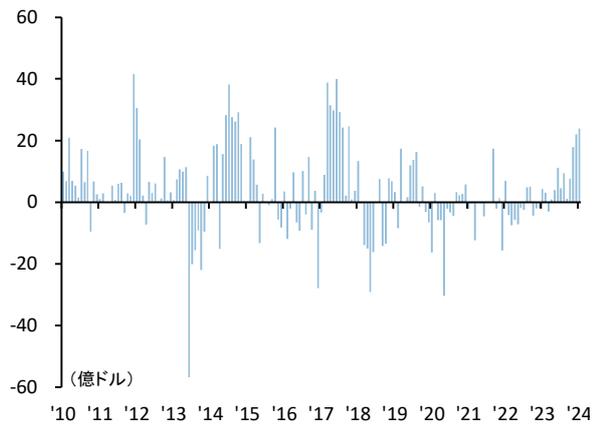
出所: IMF、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: インド政府債務の保有割合(%)



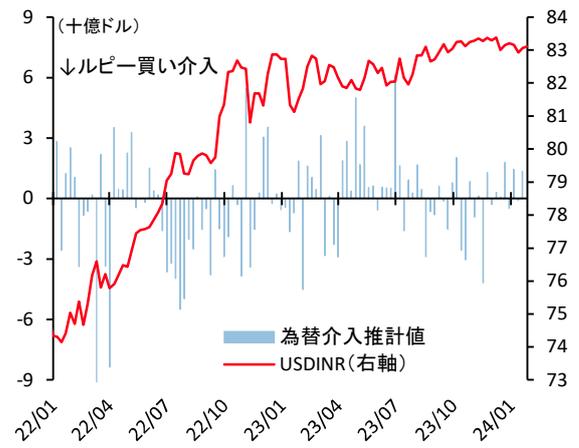
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 5: 債券市場における海外投資家の資金流入額(ネット)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

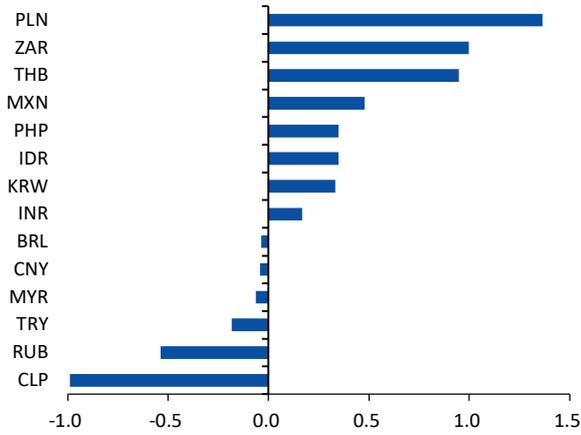
図表 6: インド準備銀行による為替介入推計値



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

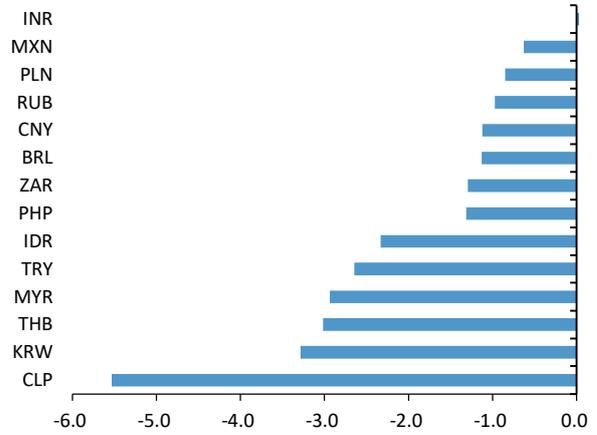
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



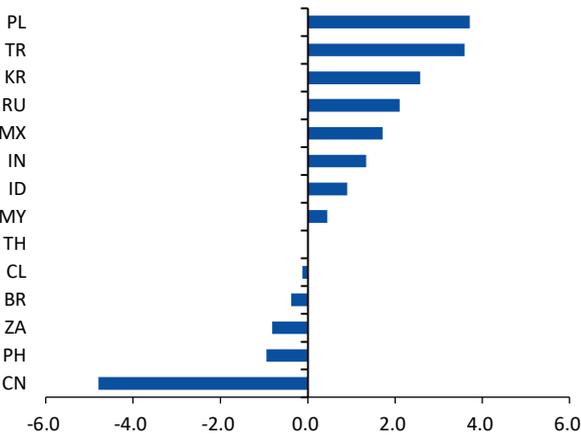
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



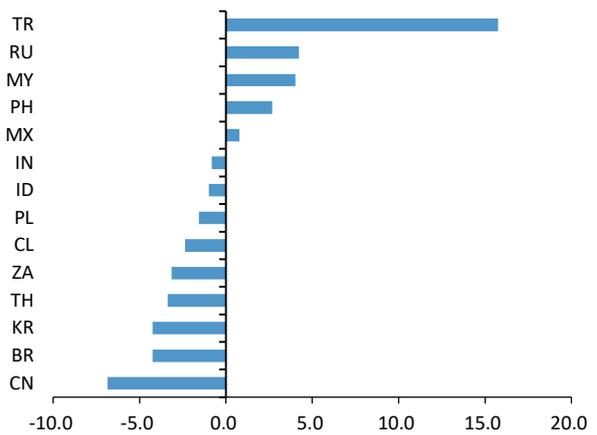
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



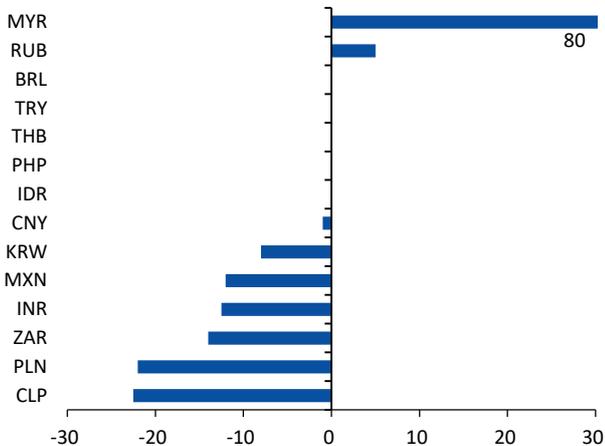
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

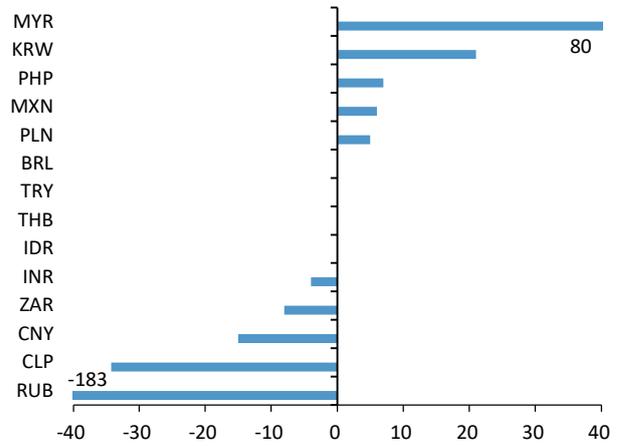
5年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

5年物スワップレート年初来変化(bp)



注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

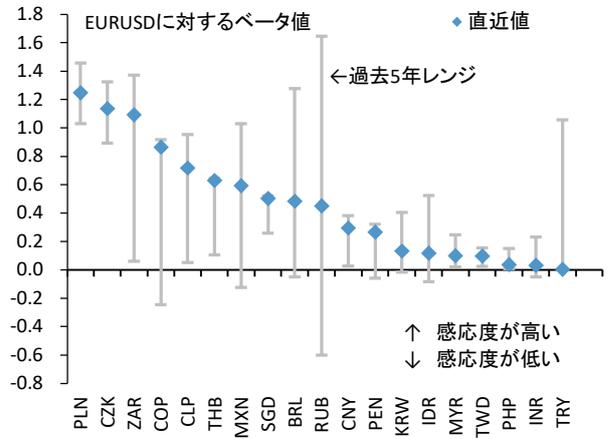
チャート集

主要新興国への証券投資(4週間移動平均)



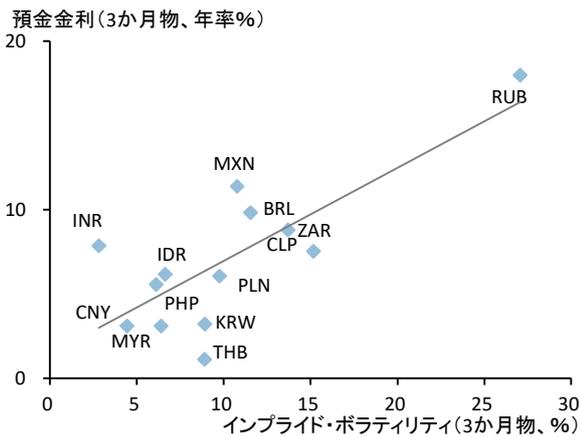
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



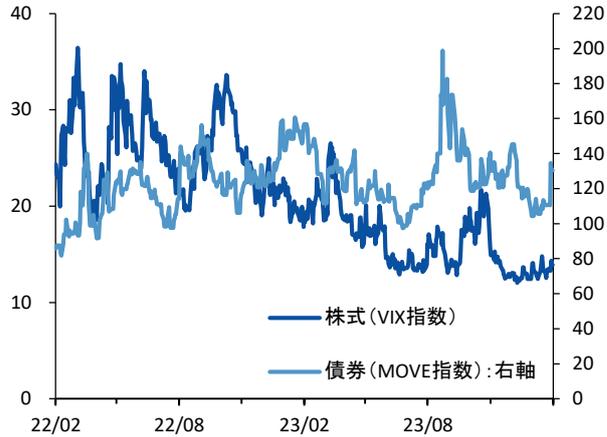
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



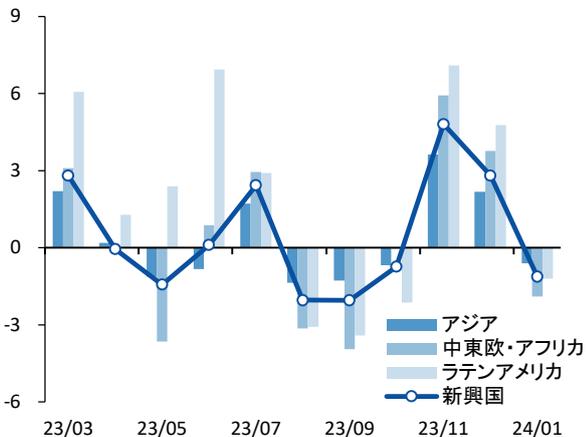
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



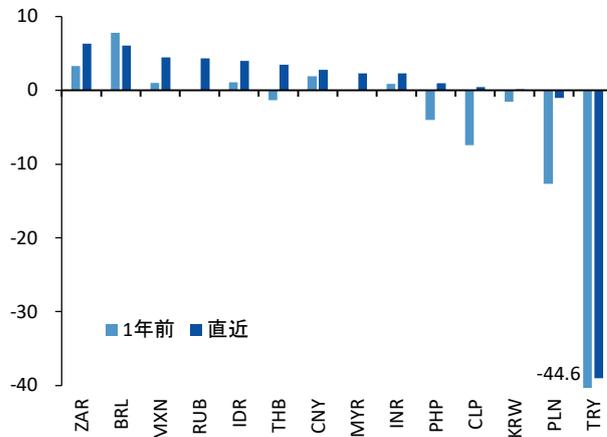
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率, %)



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
1月31日 (水)	韓国	鉱工業生産(前年比)	5.0%	6.2%	5.3%	--
31日 (水)	中国	製造業PMI	49.3	49.2	49.0	--
31日 (水)	中国	非製造業PMI	50.6	50.7	50.4	--
31日 (水)	フィリピン	GDP(前年比)	5.1%	5.6%	5.9%	--
31日 (水)	タイ	国際収支:経常収支	\$1000m	\$2107m	-\$1244m	--
31日 (水)	タイ	貿易収支	--	\$2346m	-\$159m	--
31日 (水)	台湾	GDP(前年比)	4.2%	5.1%	2.3%	--
2月1日 (木)	韓国	貿易収支	\$600m	\$300m	\$4500m	\$4457m
1日 (木)	中国	Caixin中国製造業PMI	50.8	50.8	50.8	--
1日 (木)	インドネシア	CPI(前年比)	2.5%	2.6%	2.6%	--
2日 (金)	韓国	CPI(前年比)	2.9%	--	3.2%	--
5日 (月)	中国	Caixin中国PMIサービス業	53.0	--	52.9	--
5日 (月)	タイ	CPI(前年比)	--	--	-0.8%	--
5日 (月)	インドネシア	GDP(前年比)	5.0%	--	4.9%	--
5日 (月)	シンガポール	小売売上高(前年比)	--	--	2.5%	--
6日 (火)	フィリピン	CPI YoY 2018=100	--	--	3.9%	--
6日 (火)	台湾	CPI(前年比)	--	--	2.7%	--
7日 (水)	韓国	国際収支:経常収支	--	--	\$4059.7m	--
7日 (水)	マレーシア	鉱工業生産(前年比)	--	--	0.6%	--
7日 (水)	タイ	タイ中央銀行指標金利	--	--	2.50%	--
7日 (水)	台湾	貿易収支	--	--	\$11.10b	--
8日 (木)	中国	PPI(前年比)	--	--	-2.7%	--
8日 (木)	中国	CPI(前年比)	--	--	-0.3%	--
8日 (木)	インド	RBI政策金利	--	--	6.50%	--
中東欧・アフリカ						
1月31日 (水)	トルコ	貿易収支	-6.10b	-6.04b	-5.92b	--
31日 (水)	南ア	貿易収支(ラント)	10.0b	14.1b	21.0b	--
2月1日 (木)	ロシア	鉱工業生産(前年比)	3.6%	2.7%	4.3%	--
5日 (月)	トルコ	CPI(前年比)	--	--	64.8%	--
5日 (月)	トルコ	CPIコア指数(前年比)	--	--	70.6%	--
5日 (月)	トルコ	PPI 前年比	--	--	44.2%	--
8日 (木)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	--	--	10.5%	--
8日 (木)	南ア	製造業生産(季調前/前年比)	--	--	1.9%	--
9日 (金)	トルコ	鉱工業生産(前年比)	--	--	0.2%	--
ラテンアメリカ						
1月30日 (火)	メキシコ	GDP(季調前/前年比)	3.0%	2.4%	3.3%	--
2月1日 (木)	ブラジル	SELICレート	11.25%	11.25%	11.75%	--
2日 (金)	ブラジル	鉱工業生産(前年比)	-0.3%	--	1.3%	--
5日 (月)	ブラジル	経常収支	-\$7500m	--	-\$1553m	--
7日 (水)	ブラジル	純債務対GDP比	60.0%	--	59.5%	--
7日 (水)	ブラジル	小売売上高(前月比)	--	--	0.1%	--
8日 (木)	ブラジル	貿易収支(月次)	--	--	\$9360m	--
8日 (木)	ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	--	--	0.6%	--
8日 (木)	メキシコ	CPI(前年比)	--	--	4.7%	--
9日 (金)	メキシコ	オーバーナイトレート	--	--	11.25%	--
9日 (金)	メキシコ	鉱工業生産(季調前/前年比)	--	--	2.8%	--

注: 2023年2月2日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

	2024年 1月(実績)	SPOT	2024年 3月	6月	9月	12月	2025年 3月
対ドル							
エマージングアジア							
中国人民元 (CNY)	7.1021 ~ 7.1976	7.1805	7.15	7.15	7.10	7.05	7.00
香港ドル (HKD)	7.8048 ~ 7.8285	7.8199	7.80	7.80	7.79	7.78	7.77
インドルピー (INR)	82.770 ~ 83.351	82.975	83.8	84.5	83.5	82.0	80.8
インドネシアルピア (IDR)	15430 ~ 15843	15765	15500	15710	15520	15350	15200
韓国ウォン (KRW)	1290.40 ~ 1346.80	1331.77	1300	1290	1280	1260	1250
マレーシアリング (MYR)	4.5892 ~ 4.7400	4.7302	4.67	4.64	4.68	4.61	4.58
フィリピンペソ (PHP)	55.445 ~ 56.560	56.118	55.8	56.2	56.2	55.2	54.8
シンガポールドル (SGD)	1.3193 ~ 1.3469	1.3368	1.34	1.38	1.35	1.33	1.32
台湾ドル (TWD)	30.663 ~ 31.623	31.332	30.5	30.0	29.6	29.2	29.0
タイバーツ (THB)	34.11 ~ 35.88	35.33	35.5	36.1	35.2	34.2	34.0
ベトナムドン (VND)	24260 ~ 24618	24410	24300	24500	24100	24000	23900
中東欧・アフリカ							
ロシアルーブル (RUB)	87.4000 ~ 92.0807	90.3528	90.0	92.0	94.0	96.0	98.0
南アフリカランド (ZAR)	18.2639 ~ 19.2180	18.5923	19.0	19.2	19.4	19.6	19.8
トルコリラ (TRY)	29.6646 ~ 30.7249	30.4199	31.0	32.0	31.0	30.0	29.0
ラテンアメリカ							
ブラジルリアル (BRL)	4.8314 ~ 5.0017	4.9125	5.00	5.05	5.05	5.02	5.00
メキシコペソ (MXN)	16.7852 ~ 17.3860	17.0833	17.5	18.0	18.2	18.4	18.5
対円							
エマージングアジア							
中国人民元 (CNY)	19.830 ~ 20.733	20.385	20.28	20.14	20.14	20.57	20.86
香港ドル (HKD)	18.032 ~ 19.026	18.721	18.59	18.46	18.36	18.64	18.79
インドルピー (INR)	1.695 ~ 1.790	1.763	1.73	1.70	1.71	1.77	1.81
インドネシアルピア (100IDR)	0.913 ~ 0.952	0.929	0.935	0.917	0.921	0.945	0.961
韓国ウォン (100KRW)	10.820 ~ 11.151	10.992	11.15	11.16	11.17	11.51	11.68
マレーシアリング (MYR)	30.593 ~ 31.527	31.001	31.05	31.03	30.56	31.45	31.88
フィリピンペソ (PHP)	2.541 ~ 2.660	2.616	2.60	2.56	2.54	2.63	2.66
シンガポールドル (SGD)	106.65 ~ 110.79	109.52	108.37	104.35	105.69	109.19	110.44
台湾ドル (TWD)	4.576 ~ 4.750	4.671	4.75	4.80	4.83	4.97	5.03
タイバーツ (THB)	4.096 ~ 4.196	4.144	4.08	3.99	4.06	4.24	4.29
ベトナムドン (10000VND)	0.5807 ~ 0.6057	0.5996	0.60	0.59	0.59	0.60	0.61
中東欧・アフリカ							
ロシアルーブル (RUB)	1.552 ~ 1.689	1.621	1.61	1.57	1.52	1.51	1.49
南アフリカランド (ZAR)	7.588 ~ 7.918	7.874	7.63	7.50	7.37	7.40	7.37
トルコリラ (TRY)	4.748 ~ 4.929	4.804	4.68	4.50	4.61	4.83	5.03
ラテンアメリカ							
ブラジルリアル (BRL)	28.829 ~ 30.192	29.779	29.00	28.51	28.32	28.88	29.20
メキシコペソ (MXN)	8.297 ~ 8.684	8.572	8.29	8.00	7.86	7.88	7.89

注:1. 実績の欄は2024年1月31日まで。SPOTは2月2日の7時5分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。